

FRPで 薬液漏れを 食い止める！

薬液漏洩の発生、または発生の恐れのある化学プラントの設備について当社が施工の方向性を提案の上、施工業者を現場で指示することで、確かな恒久対策施工実施を支援します。

薬液漏えい恒久対策施工支援

FRPは酸やアルカリに対する耐久性が高いため、化学プラントの槽、タンク、ダクト、カバー等に用いられます。しかし、長い時間これらの薬液にさらされることによるFRPの劣化は不可避であるため、適切な保守管理が重要となります。

恒久対応事例

薬液の漏れやその恐れのある箇所に対し、応急処置ではなく「恒久対策」という基本を徹底。



対応前：「つぎはぎ」のように補修された硝フッ酸槽



対応後：FRP特殊ライニング工法による恒久対応結果

事例① 強酸の槽

この槽では繰り返し薬液漏れが発生したことから、該当する箇所を「つぎはぎ」のように複数回にわたり応急処置した様子が確認できます。当社では、槽内全体に新しいFRP槽を構築するFRP特殊ライニング工法により、恒久対応を行いました。



対応前：苛性ソーダの浸透が生じた小型フランジ



対応後：FRPで積層されたフランジ

事例② 強塩基の槽

苛性ソーダ槽では、薬液に接するFRPの強化繊維にガラス繊維を用いるという不適切な設計により、薬液の浸透が認められました。

この事象に対する対応として、既存フランジをそのままに、その上から苛性ソーダの影響を受けにくい有機繊維を強化繊維としたFRPを用い、フランジのシェル部（円筒形状部分）をカバーし、薬液浸透の続く領域をFRPで保護するという対策を行いました。

ご 相 談

お電話または当社のホームページの問い合わせページよりご連絡ください。**初回相談無料**

ヒアリング 現場調査

発生している薬液漏れ問題についてのヒアリングを行うため、対面、またはWebでの打ち合わせを設定いたします。緊急を要する場合、合わせて現場での確認を行うことも可能ですので、ご相談ください。

立 案 お 見 積

FRPの専門家が恒久対策を基本とした対策案を立案し、支援費用のお見積りを提示いたします。

業 者 選 定

当該案を基本に施工できる業者について当社よりご提案し、お客様に業者を選定をしていただきます。

ご 連 絡

必要な道具・資材を施工業者へ指示の上、工期日程を決めます。お客様には本情報をお伝えした上で、槽洗浄等、工場ですらにご対応いただきたいことについて、当社よりご連絡をします。

施 工

施工当日は、当社社員が現場に立ち会い、施工が適切に行われるよう監督し、必要に応じた指示を施工業者に対して行います。

ご 確 認

施工後、薬液を実際に投入し、薬液漏れが起こらないことをご確認いただきます。

お 支 払

工事完了後、当社より請求書をお送りしますのでお支払いをお願い致します。

お問い合わせ

会社名 株式会社 FRPカジ

所在地 〒258-0122

神奈川県足柄上郡山北町都夫良野 2-1

TEL 0465-75-2893

FAX 0465-75-2895

mail info@frpkaji.co.jp

web <https://frpkaji.co.jp>

